

講義名	日本語総合A（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学や普段の生活の中で必要な日本語能力を身につけることを目的とする。
授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学び、実際に日本語でのコミュニケーションや作文で使えるようになることを目指す。

到達目標

授業で扱った文法項目の理解だけでなく、運用能力を身につけ、大学での学習や日常生活でのコミュニケーションに対応できるようにする。

提出課題

課題（ワークシート、宿題など）については授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題は添削し、各学生にフィードバックする。また、間違いが多かった問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業への参加度（20%）、授業中に与える課題（40%）、中間試験（20%）、期末試験（20%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・出欠は毎回とる。毎授業開始時に出欠をとり、かつ課題などを提出することで出席とする。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
- ・1/5分以上の遅刻は欠席となる。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.なし。				
------	--	--	--	--

その他

授業中にプリントや資料を配布する。参考文献・WEBサイトは必要に応じて授業で紹介する。

授業計画

第1回 オリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）など
 第2回 敬語表現など
 第3回 対比を表す表現、限定を表す表現など
 第4回 動詞を表す表現、変化を表す表現など
 第5回 説明する表現、進用中止など
 第6回 推量を表す表現、意志を表す表現など
 第7回 条件を表す表現、立場・観点を表す表現など
 第8回 中間試験
 第9回 否定を表す表現、疑問を表す表現など
 第10回 傾向を表す表現、副詞を表す表現など
 第11回 意見や結論を述べる表現など
 第12回 比例・平行を表す表現、継続を表す表現など
 第13回 理由を表す表現、動詞を表す表現など
 第14回 関係を表す表現、希望を表す表現など
 第15回 期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：事前に配布する資料について、分からない語句の読み方や意味を調べる（各授業1時間程度）
 復習：授業で扱った項目を復習し、文作成練習などを行う。また、学んだことを授業外で実践すること。（各授業3時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

日本語能力を向上させることで、自ら必要な情報を収集し、そこから得た知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考